

博士學位論文作成の形式について

1. 作成規格

- (1) 用紙はA4判の上質紙、またはコピー用紙を用いる。縦使いとし、記載はすべて横書き、左綴じとすること。
- (2) 本文の使用言語は日本語もしくは英語とし、活字印刷によること。
- (3) 本文は、本文、注、参考文献の順とし、図・表・写真は本文中に挿入する。ただし、本文の記述に直接関係しない資料等は巻末に付録として別添すること。なお、図表及び資料について審査用として提出する際には巻末に一括して提出しても差し支えないものとする。
- (4) フラットファイル綴じを原則とし、表紙と背に論文題目(外国語の場合は和訳をつけること。)及び氏名を記載したものを提出すること。

2. 書式(表紙を除く)

- (1) 余白を上下30mm、左右30mm程度とること。
- (2) 文字級数: 10~11ポイント
- (3) 文章は1ページあたり30行、40文字程度(1,200字)を目安とすること。

3. 表紙および目次

レイアウト例を参照すること。いずれもレイアウト例は概要であり、詳細設定は提出者の任意とする。

4. 論文の構成

(1) 論文の構成

論文は、原則として、下記の項目にしたがって記述する。

- ・タイトル
- ・目次
- ・学位論文内容要旨(和文)(本文が英語の場合は英文)
- ・序論(研究の意義・目的)
- ・文献検討
- ・研究方法
- ・倫理的配慮
- ・結果
- ・考察
- ・研究の限界と今後の課題
- ・結論
- ・謝辞
- ・引用文献
- ・資料(付録)

(レイアウト例)

論文題目 (英文タイトル) 氏名 (1頁目)	—目次— 〇〇頁 〇〇頁 (2頁目)	要約 — 1 — (3頁目)	第1章 研究の意義、目的 — 2 — (4頁目以降)
---	---------------------------------	------------------------------	---

(2) 作成上の配慮

頁は要約から文献欄の最終頁まで、— 1 —、— 2 —、のようにフッター中央につける。

1) 本文の作成

①要旨

要旨は、和文(4000字程度)とする。また、キーワードは3～5語を要約の下段に記載する。key words は、Medical subject heading(国立医学中央図書館)を参照。

(例) キーワード: 緩和ケア、終末期、家族、

②見出し

各章には、小見出しをつける。見出しの区分は、第1章 I .1.1) (1) ① i の順序とする。

③図表と資料の添付

図表及び資料は、白紙(本文と同質)を用いて作成し、それぞれ一連の番号を付し、またそれらの内容を示す標題(図は下、表は上)をつける。表の大きさは、最大A3サイズまでとする。なお、図表は、製本した論文には本文内の適当な箇所に挿入するが、審査用の論文の場合には、最後にそれらごと一括して提出してもよい。

(3) 参考文献

論文の執筆スタイル

APA Style

- ・基本的には最新版のAPAスタイルマニュアル本(英語版・日本語訳版)を参考にしてください。和文の記載は、以下の例を参考にしてください。
- ・記号、数字、英語は半角入力です。ただし和文の場合は、コンマやピリオドは全角です。
- ・EndNoteなどの文献管理ソフトの使用を奨励します(論文投稿で奨励されています)。
- ・下記にAPA Style の英語例も示していますが、数年毎に変更になりますので確認が必要です。
- ・文献は、論文の最後に「A~Z」の順に表記します。
- ・各文献記載については、1文献が2行目以上にわたる時は2行目以降の開始を半角5文字下げる。
- ・文中の句読点について、和文・英文ともに句点は「.」、読点は「,」を用いる。和文では全角文字、英文では半角文字を原則とする。

雑誌からの文献を論文に引用する場合

APA スタイル

著者名 (出版年) . 論文タイトル : 雑誌名, 巻数 (号数) , 初めのページ-終わりのページ.

例 : 英語論文の場合

Landman, F (2015a) . Future of Home Care Nursing 1. *Home Care Nursing*, 1 (5) , 48-63.

Landman, F (2015b) . Future of Home Care Nursing 2. *Home Care Nursing*, 1 (6) , 20-33.

例 : 日本語論文の場合

大賀芳樹 (2015) . 在宅看護の将来, *日本在宅ケア学会*, 1 (5) , 48-63.

- ・著者名は、原則として「姓」「名」の順で表記します。したがって、日本語著者名は、そのまま記載しますが、英語著者名は、「姓, 名」とコンマで区切り表記します。
- ・上記のように、APAスタイルの場合、「著者名 (出版年)」と表記します。
- ・英語のLandman, F の例では、同じ年の2つの論文を提示しています。この場合、発行順に「2015a」「2015b」としました。同じ年の論文が1つの場合はこの「a, b」は不要です。
- ・複数の著者による共著の場合、基本的にはそれをすべて列記します。よって、本校の修士論文、博士論文においては、すべての著者名を表記します。(ただし、論文の投稿等ではそのスタイルに従い、最初の数名を列記して、その他の著者名を省略して、日本語の場合は「ほか」、英語の場合は「et al.」と表記することもあります。)
- ・論文名と雑誌名は区別できるように、英語、日本語共に雑誌名、巻数、号数をイタリック体にします。
- ・雑誌名の後に、その論文が掲載されている巻数と号数、ページを明記します。上記の日本語の例では「1, 5, 48-63.」となります。
- ・ページ番号の連結には短いen dash (–) を用います。ハイフンやマイナスは使いません。

図書からの文献を論文に引用する場合

APA スタイル

著者名 (出版年) . 書名. 発行地 : 出版社.

例 : 英語図書の場合

Mittelbach, F & Goossens, M (2004) . *The LaTeX Companion, 2nd ed.* Oxford : Wiley.

例 : 日本語図書の場合

木下貞男 (1981) . *理科系の作文技術*. 東京, 中央公論新社.

- ・英語、日本語共に、一冊の図書のタイトルとピリオドも一緒にイタリック体にします。
- ・出版社の前に出版社の所在地を入れます。出版社所在地が複数存在する場合は、その先頭の所在地を表記します。
- ・シリーズ名やシリーズ番号がある場合はそれも追記します。
- ・英語で、著者が2名以上の場合は、2名の間にアンパサンドの「&」を使用します。3名以上の場合は、最後の著者の前に「, 」の代わりに「&」を使用します。

翻訳書の場合

APA スタイル

原著者名（発行年）／翻訳者名（訳）（発行年）． タイトルーサブタイトル． 発行地， 出版社．

例：

Creswell, W. (2003) / 躁華子, 森岡崇 (訳) (2007) . *研究デザインー質的・量的・そしてミックス法*. 東京, 日本看護協会出版会.

インターネットのウェブサイトからの文献を論文に引用する場合

doi 番号が或る場合

APA スタイル

著者名（出版年）． 論文タイトル：ジャーナル名， ページ番号. doi：番号

英語の例

Kikuchi, K., Ansah E., Okawa, S., Shibamura A., Gyapong, M., Owusu-Agyei, S., Oduro, A., Quansah-Asare, G., Hodgson, A. & Jimba, M. (2015) . Ghana's Ensure Mothers and Babies Regular Access to Care (EMBRACE) program: study protocol for a cluster randomized controlled trial : *Trials*, 16-22. doi:10.1186/s13063-014-0539-3

- ・APA Style では、第6版から必要になりました。
- ・doi 番号は論文の隅に必ず書かれています。
- ・doi 番号のあとのピリオドは不要です。
- ・doi: のあとのスペースは不要です。
- ・英語、日本語共にジャーナル名をイタリック体にします。

政府関係のウェブサイトのようにdoi がない場合、もしくはdoi 番号が分からない場合

APA スタイル

著者名（更新年）． ウェブサイトの題名， 入所先（URL）／閲覧日．

例：英語の場合

WHO (2015) . Global Health Observatory (GHO) data,
http://www.who.int/gho/map_gallery/en/
(accessed 2016-01-06) .

例：日本語の場合

外務省 (2015) . ビザ発行統計, <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/tokei/hakkyu/> (閲覧日 : 2016年1月6日) .

- ・インターネットのウェブサイトでも提示の仕方は、論文や図書と大きく変わりはありませんが、アクセスできるURL（アドレス）と自分がアクセスした日時を必ず明記します。
- 気をつける点は、ウェブサイトは頻繁に更新されることがありますし、削除されることもあります。従って、自分がアクセスした日を表記する必要があります。
- ・ウェブサイトは更新年が記されていないこともあります。わかる範囲でできるだけ表記しましょう。

以上